

KAWA KOKU

事業概要

かわこく



国土交通省

高田かわこく
河川国道事務所

上越地域の河川と災害

過去の河川災害の状況

急流河川と水害「平成7年7月出水」から20年

上越地域を流れる関川、姫川は幹川流路延長がともに約60kmで、全国の一級河川の中でみると比較的延長の短い河川ですが、標高2千mを超える水源地から人々の暮らす平地までを一気に流れ下る急流河川です。このため上流部で強い雨が降ると短時間のうちに洪水のピークが下流に達し大きな被害を及ぼし、特に20年前に発生した「平成7年7月出水」では甚大な被害が発生しました。

関川

関川流域は、急峻な山地部と平坦な平野部から成っており、川の流れも極端に変化します。下流部では、かつての氾濫源であった低い土地も盛んに開発され、宅地や事業所として利用が進んでおり、河川の氾濫や内水による浸水等の被害を受けやすい状況になっています。

関川とその支川の保倉川では、過去からのたび重なる洪水被害を受けて、これまでに川幅を広げるなどの改修が行われてきましたが、依然として流下能力が不足しており、特に安全度の低い保倉川では放水路の整備等が必要とされています。



● 関川の流域の概要

平成7年7月 保倉川出水・浸水状況

流路延長	64km
流域面積	1,140km ²
流域市町村	上越市、妙高市、長野市、飯山市、信濃町（4市1町）
流域内人口	約21万人
支川数	76

姫川

姫川流域は、西側に北アルプス北部の白馬岳や朝日岳等がそびえ、大半を急峻な山地が占めています。また、流域のほぼ中央には大断層である「糸魚川・静岡構造線」が貫通しており、脆く崩れやすい地質から大規模な崩壊も頻発しています。このため姫川では土砂の流出が激しく、過去から氾濫を繰り返してきました。

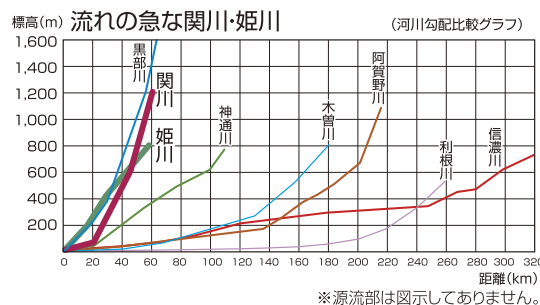
平成7年7月出水では、強い流れによる洗掘により護岸が破壊され、堤防の侵食が一気に進んで決壊（破堤）に至るという被害が発生しました。これは“侵食破堤”といわれ、護岸基礎部分の補強対策が求められています。



● 姫川の流域の概要

平成7年7月 姫川出水 糸魚川市上刈地区の堤防決壊状況

流路延長	60km
流域面積	722km ²
流域市町村	新潟県糸魚川市、長野県大町市、白馬村、小谷村（2市2村）
流域内人口	約1万8千人
支川数	47



平成7年7月 関川出水 妙高市月岡地先堤防決壊状況

● 関川・過去の主な洪水と洪水被害

発生年月日	発生原因	被害状況
昭和56年8月23日	台風15号	床上浸水512戸、床下浸水538戸、 浸水面積443ha
昭和57年9月13日	台風18号	全半壊5戸、床上浸水2,738戸、 床下浸水4,472戸、浸水面積717ha
昭和60年7月8日	梅雨前線	床上浸水302戸、床下浸水2,171戸、 浸水面積2,699ha
平成7年7月11日	梅雨前線	行方不明者1名、全半壊70戸、床上浸水2,167戸、 床下浸水2,620戸、浸水面積2,217ha

出典:水害統計(国土交通省河川局監修)



平成7年7月 姫川出水 糸魚川市大野地先 堤防欠損状況

● 姫川・過去の主な洪水と洪水被害

発生年月日	発生原因	被害状況
昭和44年8月11日	台風7号	床上浸水120戸、床下浸水205戸、 農業被害面積404ha
平成7年7月11日	梅雨前線	全半壊62戸、床上浸水66戸、床下浸水320戸、 農業被害面積103ha

出典:水害統計(国土交通省河川局監修)

安全な川、親しめる川を目指して。

災害に強い川づくり

河川整備基本方針及び河川整備計画

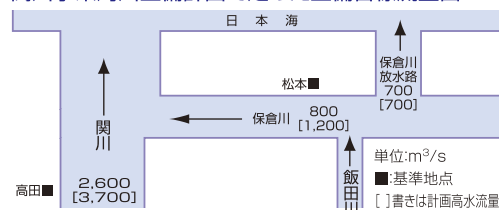
関川水系河川整備計画

関川水系の河川整備の基本となる「関川水系河川整備基本方針」を平成19年3月に策定し、当面の具体的な整備内容を定めた「関川水系河川整備計画」を平成21年3月に策定しました。

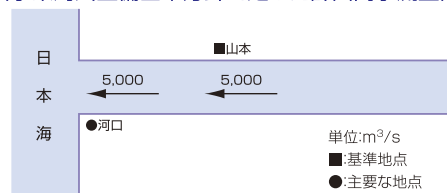
姫川水系河川整備計画

姫川水系の河川整備の基本となる「姫川水系河川整備基本方針」を平成20年6月に策定しました。現在は「姫川水系河川整備計画」の策定に向け、姫川に造詣の深い有識者の方々から意見を頂くことを目的に「姫川有識者会議」にて検討を行っています。

関川水系河川整備計画で定めた整備目標流量図



姫川水系河川整備基本方針で定めた計画高水流量図



治水対策の推進

関川の治水対策

関川は、過去に度重なる水害を受け築堤等の整備を進めてきましたが、整備計画目標流量（既往最大流量：昭和57年9月洪水規模）に対し洪水を流下させる能力が不足している区間があるため、市街地を抱える中流部ならびに下流部から重点的に河道掘削を行います。



姫川の治水対策

姫川は全国屈指の急流河川であり、洪水による河床の変動や偏流が激しく、局所的な洗掘などにより堤防の決壊に至る危険性があります。

近年の洪水より大規模な侵食・洗掘をうけている糸魚川市寺島地区において、護岸の整備を行います。



河川の維持管理

日々の河川管理と危機管理

大規模出水等に備え、河川管理施設等の機能を十分発揮できるように、河川パトロール、施設等の点検・維持管理を適切に実施しています。

なお、河川の氾濫や、水質事故が発生した時には速やかにその対応にあたります。



河川環境の整備・保全

豊かな自然とのふれあい

桜づつみや河川敷の整備を推進し、地域の方々に親しまれる水辺空間の創出を進めています。

また、小学校や地域の皆さんと連携して河川とのふれあいや、環境学習をサポートします。

水辺の動植物や水質調査を行い、河川環境の保全・改善を目指します。



上越地域と道路

高田かわこく管内の道路整備

大規模プロジェクトに対応した地域ネットワークの形成

現在、「上越火力発電所」、北陸新幹線整備に伴う「新幹線新駅周辺整備事業」などの大規模プロジェクトや市街地での大規模商業開発が進められています。

これらのプロジェクトに対応するため、「上新バイパスの4車線化事業」の他、国・県・市が連携して「上越魚沼地域振興快速道路」等のネットワーク整備を推進していきます。



老朽化により損傷が著しい橋梁の架替

国道18号に架かる妙高大橋は、大田切川を渡河する橋長300mのPC4径間連続箱桁橋で昭和47年に建設されてから約40年が経過しています。

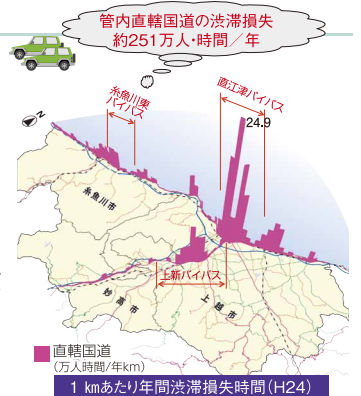
平成21年に実施した補修工事の際、コンクリート桁内に配置されているPCケーブルの腐食・破断が発見されました。

現在、妙高大橋は、緊急・応急対応として補強ケーブルの設置、橋上面の防水対策、機器による監視強化及びPCケーブルの定期的な調査等を行い、通過する交通の安全を確保していますが、恒久対策として、橋梁架替を行います。

中心都市の渋滞緩和

高田かわこく管内の直轄国道における年間渋滞損失時間は、251万人時間／年にも上っています。

このため、国道18号上新バイパスの4車線化や国道8号糸魚川東バイパスの整備並びに直江津バイパスの5車線化を行うことにより、朝夕のラッシュ時の渋滞緩和が期待されます。また、各バイパスが整備されることにより自動車の平均速度が向上することで、CO2の排出量削減も期待されます。

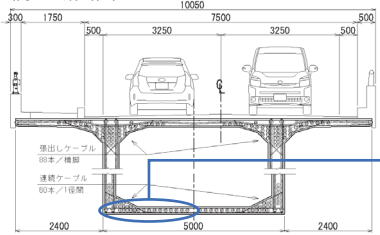


糸魚川東バイパス 梶屋敷東交差点方面



直江津バイパス(下り線)

橋の断面図



コンクリートの中ではPCケーブルが9本破断していた

塩害による著しい損傷を受けた橋梁の恒久対策の実施

国道8号は日本海側の主要都市を結ぶ唯一の主要幹線道路として、産業や経済の発展に大きな役割を果たしているとともに、第一次緊急輸送道路として位置づけられています。

このうち、上越市から糸魚川市の約74km区間は、日本海の荒波の影響を直接受ける厳しい塩害環境下に位置しており、コンクリート橋においても鋼材の腐食・損傷が著しい橋梁が確認されております。

このため、塩害による損傷が特に著しい8橋(能生大橋、両鬼橋、筒石橋、有間川橋、弁天大橋、青海川橋、歌高架橋、境橋)及び老朽化が著しい青海跨線橋に対し、恒久対策として橋梁架替等を行います。



橋梁内部の鋼材破断状況



橋梁架替が完了した能生大橋

「道の駅」による人と人との観光交流

高田かわこく管内には、7箇所の「道の駅」があり、人と街の交流ステーションとして魅力を発揮しています。駅内には駐車場や道路や地域の案内施設の他、地域の特産物やレストランなど、それぞれ個性あふれる施設・サービスを提供しています。平成23年からは「道の駅あらい」においてETC2.0サービスを実施し、様々な道路情報を提供しています。

また、災害発生時における防災基地としての機能についても強化していきます。



道の駅あらい

安全で快適な道路整備

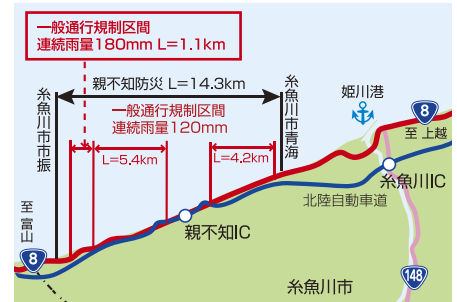
災害に強い道路を目指して

北陸の大動脈の確保 親不知の交通規制の減少を目指して

国道8号は、新潟市から京都に至る主要幹線道路であり、北陸自動車道と相互に補完しあい広域的な交通網を形成するとともに、地域の産業経済、日常生活を支える重要な役割も担っています。

しかし、親不知地区は古くから“交通の難所”で、現在も連続雨量が120mm以上になると通行止めとなります。

高田かわこくでは、毎年、防災点検を行い必要な対策を進めてきています。引き続き必要な対策を行い交通規制を少なくすることで、北陸の大動脈・国道8号の信頼性を高めていきます。



橋梁の耐震対策

高田かわこくでは、地震時の落橋等の甚大な被害を防止し、第一次緊急輸送道路としての機能を確保するために、橋脚の補強、落橋防止システム設置等の整備を進めていきます。

日本海の荒波に負けない道路のために

越波対策

海岸線を通る国道8号は、台風や冬期の波浪により、波が道路まで達することがあります。このため、海岸擁壁および消波ブロック設置等の対策を行い、安全な通行の確保に努めています。



国道8号の越波の状況(糸魚川市能生地先)

橋梁・洞門・海岸擁壁老朽化対策

日本海沿岸に沿った国道8号は、冬期波浪の影響など厳しい塩害環境下において、橋梁・洞門・海岸擁壁は塩害・摩耗による老朽化が進んでいます。高田かわこくでは、安全・安心な道路を確保するため、橋梁・洞門・海岸擁壁などの補修を進めていきます。



橋梁補修

向山7号洞門(山側擁壁の補修状況)

日常の安全管理

道路の安全・安心は、日々の積み重ねから

厳しい自然環境の中にある道路を守るため、日頃から安全管理のための点検作業を行っています。



国道8号の防災点検(駒返トンネル[富山側坑口]下)



橋梁点検(国道18号 郷田切橋)

雪国の冬の安全・快適のために

道路除雪

わが国有数の豪雪地帯である上越地域の冬期道路交通を確保するため、地域の大動脈である国道8号に4箇所、国道18号に3箇所の除雪ステーションを設け、迅速な除雪作業を行っています。



除雪車による除雪状況(国道18号)



迅速な除雪によって緊急車両もスムーズに通行(国道18号妙高市関山地先)

人にも環境にもやさしい道づくり

事故ゼロプラン

安全・安心な道路環境を実現するために

道路利用者の声や事故データに基づき、対策箇所を選定し、重点的に事故対策を進めていきます。



国道8号藤崎自歩道の整備

無電柱化の推進

美しい景観と災害に強いまちづくりのために

安全で快適な通行空間の確保や、まちの景観の向上、都市災害の防止、情報通信ネットワークの信頼性向上を目的に、電柱及び電線を地中化するなどの整備を実施しています。



国道8号寺島電線共同溝の整備

高田かわこくの情報発信

地域に密着した「かわ」や「みち」の情報をお届けします。

高田かわこくではホームページ「かわ&みちナビ上越」にて、関川、姫川、国道8号、18号等のライブカメラ映像や事務所事業の紹介、緊急時の防災情報等を提供しています。みなさん、是非アクセスして下さい。

●ライブカメラでリアルタイムな映像を見ることができます。



緊急情報 現在、緊急情報はありせん
●緊急情報があった時はここに内容が表示されます



川のライブカメラ



道のライブカメラ

情報はここから！

高田かわこく

検索

ホームページアドレス <http://www.hrr.mlit.go.jp/takada/>

地域の河川・道路情報は携帯電話からアクセス



高田かわこく
モバイル
QRコード



●携帯サイト

<http://www.hrr.mlit.go.jp/takada/kawakokumobile.html>

「高田かわこくモバイル」では、「かわ」と「みち」に関する緊急情報や防災情報、ライブカメラ映像などが確認できます。

①ライブカメラ

河川:関川、保倉川、姫川
道路:国道8号、18号を含む県内カメラ

②関川、保倉川、姫川の河川に関する情報

雨量レーダ、降雨量、水位

③国道8号、18号の道路に関する情報

降雪深、積雪深、気温、道路工事規制情報、親不知雨量規制情報 etc...



●スマートフォンサイト

<http://www.hrr.mlit.go.jp/takada/sp/index.html>
スマートフォンの方はこちらからご覧ください。

道路緊急ダイヤル



高田かわこく管内の国道8号、18号で道路の異状(路面の汚れ、落物、路面の穴ぼこ等)をみつけたら、上記番号までご一報下さい。

道の相談室



「道の相談室」では、新潟県、富山県、石川県を対象地域として、道路に関する疑問・質問、ご意見をお待ちしています。

- TEL 025-280-8880 ●FAX 025-280-8938
- 電子メール hr-michi@hrr.mlit.go.jp
- 受付時間／平日 9:30～12:00、13:00～17:00 (FAX、電子メールは24時間受付)

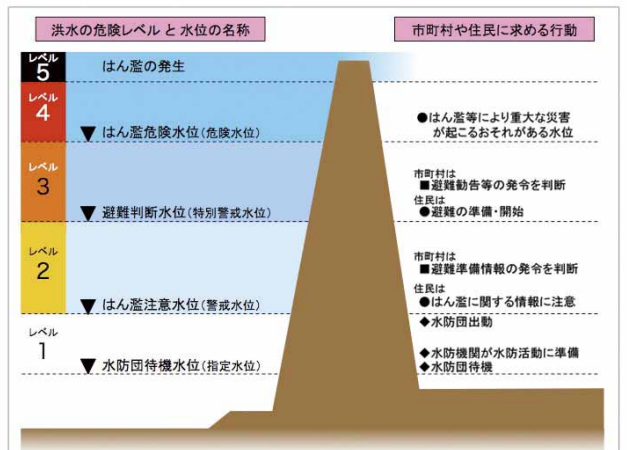
関川・姫川の洪水の危険度と避難行動(各水位がもつ意味)

■国管理区間

水系名	河川名	観測所	水防団待機水位	はん濫注意水位	避難判断水位	はん濫危険水位	計画高水位	零点高
関川	関川	高田	3.18m	3.78m	5.05m	6.05m	6.68m	2.513m
	保倉川	佐内	(3.30m)	(4.30m)	4.67m	(5.67m)		-1.148m
姫川	姫川	山本	500m³/s	1,000m³/s	1.92m	2.28m	4.91m	63.046m

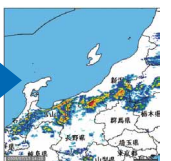
※保倉川佐内観測所は水防警報対象観測所でないため、相当水位を()で示しています。避難判断水位は水位情報周知河川の指定に伴い設定しています。
※姫川山本観測所の水防団待機水位及びはん濫注意は流量により管理しています。

高田かわこくでは、関川、保倉川、姫川の水位を監視しています。洪水の際は、以下の「川の防災情報」や、河川にある量水標などにご注意ください。



全国の河川情報も提供「川の防災情報」

「川の防災情報」では、インターネットや携帯電話でリアルタイムの雨量や河川水位の情報を確認することができます。川でのレジャーの際には、「川の防災情報」で事前に雨や水位の情報を入手し、水難事故が無いように心がけましょう。



レーダー雨量

ホームページアドレス
<http://www.river.go.jp/>
携帯電話 <http://i.river.go.jp/>



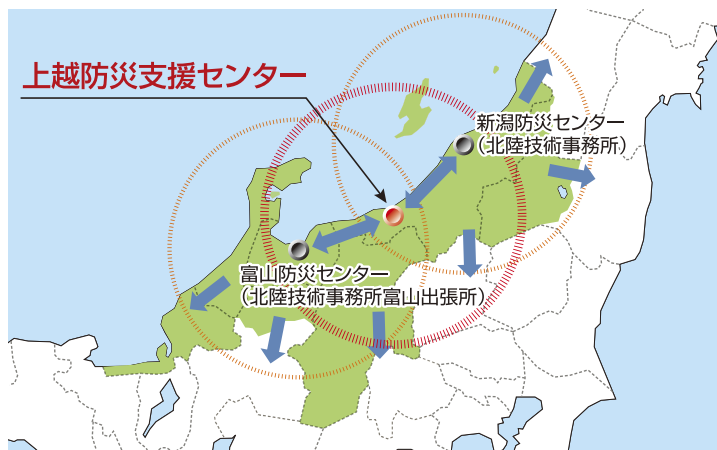
QRコード

地域で取り組む災害対策

地域防災の活動拠点として

高田かわこくには、地域の災害に対し支援を行うための排水ポンプ車・照明車などの機械や、衛星画像伝送装置等の通信機器が配備されています。これらの機器は、災害時に迅速かつ確実な稼働が求められることから、定期的に設置操作訓練を実施しています。

また、高田かわこく管内には、より広域的な防災拠点となる「上越防災支援センター」が置かれています。近年では、平成16年の新潟・福島豪雨水害、新潟県中越地震、以後の中越沖地震、岩手宮城内陸地震、東日本大震災、上越市板倉地区地すべり災害、長野県神城断層地震など大規模災害等の復旧支援活動に、当センターから各種機械が出動しています。



災害対策用機械

東日本大震災被災地での活動状況



排水ポンプ車・照明車(宮城県亘理郡亘理町)

地域消防との連携



排水ポンプ車から消防車に給水

主な災害対策用機械・通信機器一覧表

災害対策機械		災害対策用通信機器類	
機 械 名	数 量	通 信 機 器 名	数 量
対策本部車(拡幅型)	1台	衛星小型画像伝送装置(Ku-SATII)	1台
衛星通信車(可搬型)	1台	簡易画像伝送装置(パソリンク)	1組
排水ポンプ車(60m ³ /min高揚程型)	3台	画像無線伝送装置(5.8GHz)	1台
照明車(2kw×6灯・ブーム式)	1台	ヘリ画像受信装置(可搬型)	1台
照明車(2kw×6灯・2柱式)	1台	超高感度カメラ	2台
待機支援車(支援用、バス型)	1台	衛星携帯電話(車載型)	7台
待機支援車(資材運搬用)	1台	K-COSMOS(車載型)	8台
情報収集車(先適用)	1台	衛星小型画像伝送装置(Ku-SATII)	1台
遠隔操縦対応型/バックホウ(1.4m ³ 級)	1台	ヘリ画像受信装置(基地局)	2台
応急組立橋(7×50m歩道付)	1橋	超高感度カメラ	2台
排水ポンプ車(30m ³ /min)	4台	衛星携帯電話(車載型)	1台
照明車(2kw×6灯・2柱式)	4台	衛星携帯電話(可搬型)	5台
		K-COSMOS(車載型)	32台
		K-COSMOS(可搬型)	3台

2015年3月現在

緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)

国土交通省緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)は、大規模自然災害が発生、又は発生するおそれがある場合に、被災地方公共団体等に対し、円滑かつ迅速に災害対応の支援を実施することを目的として、平成20年度に創設されました。

全国の地方整備局と事務所を中心に約5,400名(H25.7現在)の隊員が任命されており、ゲリラ豪雨のような局地的な災害に対しては近隣の事務所や管内の地方整備局から、また、東日本大震災のような広域的な災害に対しては全国の地方整備局から現地へ隊員が参集します。

東日本大震災(H23.3)や伊豆大島土石流災害(H25.10)、長野県神城断層地震(H26.11)などの災害において、高田かわこくからも隊員を派遣し、被災状況調査班として活動しています。



東日本大震災(H23.3)での現地調査状況



伊豆大島土石流災害(H25.10)での現地調査状況



長野県神城断層地震(H26.11)での衛星小型画像伝送状況

高田かわこくです

※「高田かわこく」は高田河川国道事務所の呼称です。

●事務所の概要と沿革

年	事業沿革
昭和33	6月 北陸地方建設局高田国道工事事務所設置 国道8号(中頸城郡柿崎町から西頸城郡能生町まで)および国道18号(長野県境から直江津市の国道8号交差点まで)の改築ならびに維持修繕工事を担当
40	国道8号 柿崎～直江津間の一次改築完了 国道18号 管内の一次改築完了
41	国道8号 直江津バイパス事業化
42	国道8号 管内の一次改築完了
43	4月 黒部工事事務所が担当していた国道8号糸魚川市から富山県境までの区間が移管される。 直江津バイパス 工事着手 親不知防災工事本格化
44	4月 関川および姫川が一級河川に指定 関川(保倉川含む)、姫川の一部分が直轄管理区間となり、高田国道工事事務所は「高田工事事務所」に名称変更 関川水系および姫川水系の工事実施基本計画策定
45	12月 直江津バイパス ミツ屋～石橋(3.0km)暫定2車線で開通
46	12月 直江津バイパス 犀湯～ミツ屋(5.6km)暫定2車線で開通
49	10月 直江津バイパス 石橋～虫生岩戸(3.25km)完成により全線開通(11.81km)
50	9月 国道18号 上新バイパス事業化 糸魚川バイパス 4車線開通
53	11月 上新バイパス 工事着手 直江津バイパス ミツ屋～下門前(1.7km)4車線開通
57	9月 関川 台風18号による大洪水が発生し、「関川河川激甚災害対策特別緊急事業」採択 11月 上新バイパス 寺町～今池(4.22km)暫定2車線で開通
58	10月 国道18号 妙高野尻バイパス事業化 上新バイパス 今池～三田(6.98km)暫定2車線で開通
60	7月 保倉川 梅雨前線豪雨による大洪水が発生し、「保倉川河川激甚災害対策特別緊急事業」採択 10月 上新バイパス 富岡～下源入(1.9km)4車線開通
61	10月 上新バイパス 乙吉～寺町(1.66km)暫定2車線で開通 11月 直江津バイパス 下門前～石橋(1.3km・関川大橋0.265km含む)4車線開通
62	9月 11月 上新バイパス 長森～乙吉(3.84km)暫定2車線で開通 関川河川激甚災害対策特別緊急事業 完成

年	事業沿革
63	10月 上新バイパス 志～長森(0.6km)暫定2車線で開通
平成元年	11月 保倉川河川激甚災害対策特別緊急事業 完成 上新バイパス 藤沢～志(3.9km)暫定2車線で開通
3	7月 上新バイパス 市屋～藤沢(2.2km)完成により全線開通(24.6km)
5	国道148号(小谷道路)の改築事業を権限代行事業として担当
7	7月 関川、保倉川、姫川 梅雨前線豪雨による大洪水が発生
9	7月 国道18号 妙高野尻バイパス(4.0km)開通
11	11月 上新バイパス 寺～富岡(2.2km)4車線開通
13	1月 建設省 北陸地方建設局 高田工事事務所から「国土交通省 北陸地方整備局 高田工事事務所」へ移行 上越三和道路(上越市寺～三和区本郷間)の改築事業を権限代行事業として担当
14	5月 保倉川にマリーナ上越完成
15	4月 国土交通省 北陸地方整備局 高田工事事務所から「国土交通省 北陸地方整備局 高田河川国道事務所」に名称変更
18	3月 11月 12月 上新バイパス 子安～寺(2.9km)4車線開通 小谷道路、新光明沢橋完成 上新バイパス下源入交差点改良工事完成
19	3月 関川水系河川整備基本方針策定
20	6月 姫川水系河川整備基本方針策定
21	3月 4月 12月 関川水系河川整備計画策定 糸魚川地区橋梁架替事業化 上新バイパス 今池～子安(1.2km)4車線開通
22	3月 糸魚川東バイパス 梶屋敷～大和川(1.8km)暫定2車線で開通
23	3月 糸魚川地区橋梁架替(両鬼橋完成) 12月 小谷道路 穴平～マムシ岩(0.7km)2車線開通
24	4月 糸魚川地区橋梁架替Ⅱ 事業化 妙高大橋架替 事業化
25	3月 糸魚川地区橋梁架替(筒石橋完成、能生大橋完成) 11月 小谷道路 マムシ岩(0.3km)2車線開通 12月 上新バイパス 岡原～今池(1.7km)4車線開通
26	12月 小谷道路 マムシ岩～光明(0.2km)2車線開通

黒は事務所沿革、青は河川事業、緑は道路事業を示します。

組織と業務内容					平成27年4月現在
課 名	係 名	電話番号	FAX	業 務 内 容	
総 務 課	総務係	025-521-4500	025-526-0411	事務所の総合窓口	
	職員係	025-521-4511			
経 理 課	経理係	025-521-4517	025-526-3949	歳入、支払い、工事・物品契約、国有財産等に関する業務	
	契約係	025-521-4516			
用 地 課	用地第一係	025-521-4520	025-523-5236	一級河川関川、姫川の改修工事及び維持管理に必要な用地取得に関する業務 国道8号、18号、上越三和道路の改築工事、交通安全及び維持管理に必要な用地取得に関する業務	
	用地第二係	025-521-4525			
	用地第三係	025-521-4526			
防 災 課	防災対策係	025-521-4565	025-526-2105	防災関係全般に関する業務、建設機械・電気通信施設に関する業務	
	防災情報係				
河川関係					
課 名	係 名	電話番号	FAX	業 務 内 容	
工 務 第 一 課	工務係	025-521-4530	025-522-3866	一級河川関川、姫川の改修工事及び災害復旧工事に関する業務 宮繕工事に関する業務	
	河川調査係	025-521-4540	025-522-3866	一級河川関川、姫川の調査計画に関する業務	
調 査 第 一 課	河川計画係	025-521-4541		河川関係広報窓口、地域活性化、国際交流相談窓口に関する業務	
河 川 管 理 課	河川管理係	025-521-4550	025-526-7431	河川行政相談窓口、河川の占用工作物の設置、土石等の採取及び水利権等の許可権等の許認可に関する業務、河川管理施設の維持修繕に関する業務	
	水防企画係	025-521-4542		一級河川関川、姫川の水防に関する業務	
道路関係					
課 名	係 名	電話番号	FAX	業 務 内 容	
工 務 第 二 課	工務係	025-521-4535	025-524-5265	国道8号、18号、上越三和道路の改築工事に関する業務	
調 査 第 二 課	道路調査係	025-521-4545	025-524-5265	国道8号、18号、上越三和道路の調査計画に関する業務	
	道路計画係			道路関係広報窓口	
道 路 管 理 第 一 課	交通対策係	025-521-4555	025-523-9589	国道8号、18号の交通安全施設の整備に関する業務	
	道路管理係			025-521-4556	道路行政相談窓口、道路の占用、請願工事及び特殊車両の通行等に関する業務
	占用係				
道 路 管 理 第 二 課	特車窓口	025-521-4557	025-526-2105	国道8号、18号の維持修繕等に関する工事及び除雪等に関する業務	
	維持係	025-521-4560			
	修繕係	025-521-4561			
	防災・雪害対策係				
出張所名		所在地	電話番号	担当区間及び所掌事務	
高 田 出 張 所		〒943-0835 新潟県上越市本城町9番10号	025-523-6894	一級河川関川(河口～別所川合流点の間 延長12.2km)、支川保倉川(関川合流点～上流1.6kmの間)の改修工事及び維持管理に関する業務 河川行政相談窓口	
糸 魚 川 出 張 所		〒941-0067 新潟県糸魚川市横町1丁目21番1号	025-552-1660	一級河川姫川(河口～上流11.0kmの間)の改修工事及び維持管理に関する業務 河川行政相談窓口	
直 江 津 国 道 維 持 出 張 所		〒943-0166 新潟県上越市寺町字前新田615-1	025-525-7724	国道8号(上越市柿崎区竹ヶ鼻～糸魚川市大字徳合の間 延長41.0km)、国道18号(長野県上水内郡信濃町野尻～上越市下源入の間 延長37.9km)の維持修繕及び管理に関する業務 道路行政相談窓口、国道8号、18号、上越三和道路の改築工事	
糸 魚 川 国 道 維 持 出 張 所		〒941-0067 新潟県糸魚川市横町1丁目21番1号	025-552-0921	国道8号(糸魚川市大字徳合～富山県下新川郡朝日町間 延長48.2km)の維持修繕及び管理に関する業務 道路行政相談窓口、国道8号の改築工事	

高田河川国道事務所

〒943-0847 新潟県上越市南新町3番56号
電話 025-523-3136(代表) FAX025-526-0411
ホームページアドレス <http://www.hrr.mlit.go.jp/takada/>